

学校だより

あわやっこ

学校教育目標 “夢や目標の実現に向かってねばり強く歩み続ける児童の育成”

令和7年 11月
三次市立栗屋小学校



栗屋小
HP

大きな行事が終わっていきます

9月修学旅行、10月学習発表会と大きな学校行事が終わりました。大きな行事を通じて、子ども達は目標を立て、達成に向けて努力します。活動後の振り返りで成長を感じたり、家族や地域の方からの声掛けのおかげで、新たな自分の発見にもつながったりしています。

【学習発表会 10月19日(日)】

全校児童24名にとって、保護者やご家族の皆様だけでなく大勢の地域の方々に前にして発表することは、貴重な経験です。町民文化祭の中で発表させていただき機会を設けていただき感謝申し上げます。

本校児童の育成したい資質・能力は「表現力」「主体性」「共感性」です。練習から本番までの一連の教育活動は、全ての資質・能力育成に大きく関わっています。

発表会後に、多くの方々から、アンケートや直々に子ども達の頑張りを評価する言葉をいただきました。おかげで、子ども達に紹介でき、自信につなげることができました。ありがとうございました。



1・2年生「たぬきの糸車」
舞台を広く使って発表しました。大勢の人を前に緊張しつつも、リハーサル以上のがんばりでした。



3・4年生「三年とうげ」
少ない人数ながら、練習を重ねるたびに、良いものに仕上がりと、当日が最高の発表になりました。



5・6年生「ドタバタ修学旅行 笑って学んで大冒険」
実際の修学旅行をもとに台本を考えました。修学旅行から発表当日まで日が少ない中で仕上げたのはさすがでした。

【サツマイモ掘り 10月15日(水)】

5月に、3・4年生が栗屋保育所年長組のみんなと植えたサツマイモは、収穫の時期を迎えました。

毎朝、水やりをし、雑草を取り払うなど管理してきました。カラスが茎を引き抜いていた、短かった梅雨と夏の猛暑で水が足りなかつたりしましたが、無事収穫することができました。

当日も、収穫しやすいよう、早くから準備し、ご指導いただいたJAの皆様、ありがとうございました。おいしくいただきます。



例年に比べ収穫量は少なかったのですが、保育所のみんなと、仲良く分け合いました。

【認知症サポーター養成講座 10月29日(水)】

三次市地域包括支援センター、地域福祉課、主任児童委員、民生委員児童委員の皆様をゲストティーチャーに迎え、5・6年生は認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症を正しく理解し、もし自分や家族、近所の方が認知症になったら、どのようにしたらよいかといった知識や心がまえを学びました。

学んだキーワードは、「やさしく ゆっくり にっこりと」でした。



場面を想定した寸劇のあと、思いや対応の仕方を考え、交流しました。

【避難訓練(地震) 11月5日(水)】

11月5日(水)午前10時に、県下一斉に「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」が行われました。それに合わせて、栗屋小も地震対応の避難訓練を実施しました。

今回は、自分で考え避難できることを目標に、教職員の誘導なしで避難しました。これまでの訓練同様、混乱なく避難できました。



児童玄関前には、倒壊物に見立てたものを置きました。児童は迂回して別の出入口から外へ避難していました。